



平成 25 年 11 月 8 日

各 位

会社名 ヒラキ株式会社
代表者名 代表取締役 向畑達也
(コード番号 3059 東証第二部)
問合せ先 取締役経営戦略室長
今本清治
(TEL 078-967-4601)

業績予想と実績の差異および業績予想の修正に関するお知らせ

平成 25 年 5 月 10 日に公表いたしました平成 26 年 3 月期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）の第 2 四半期連結累計期間業績予想と実績に差異が生じたのでお知らせいたしますとともに、同期間の実績の反映および最近の業績の動向を踏まえ、通期業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値と実績の差異

(1) 平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想と実績の差異 (単位：百万円)

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	10,300	300	230	120	24 円 59 銭
実績 (B)	9,625	236	264	160	32 円 97 銭
増減額 (B-A)	△674	△63	34	40	—
増減率 (%)	△6.5	△21.0	15.0	34.1	—
(ご参考) 前期第 2 四半期 実績	10,548	284	142	90	18 円 63 銭

(2) 差異の理由

前回発表予想では、ディスカウント事業において、前年 10 月 28 日に閉店した氷上山南店の影響による売上減を盛り込み、前期第 2 四半期実績よりも売上減とする売上高予想といたしました。既存店においても競合他店の影響等により売上が伸び悩みました。また、通信販売事業においても、当期第 1 四半期の天候不順等の影響による売上減を取り戻すことができませんでした。

利益面では、ディスカウント事業での仕入強化対策や自社開発商品の拡販等による粗利益率の向上に加え、不採算店舗の閉店効果により改善が見られましたが、通信販売事業における売上減が影響し、営業利益が業績予想数値に至りませんでした。なお、経常利益および当期純利益については、為替差益や金利スワップの評価益等により予想を上回る結果となりました。

2. 連結業績予想数値の修正

(1) 平成26年3月期通期連結業績予想の修正

(単位：百万円)

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	21,000	700	600	330	67円61銭
今回修正予想 (B)	20,000	700	600	330	67円61銭
増減額 (B-A)	△1,000	—	—	—	—
増減率 (%)	△4.8	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績	20,642	588	533	328	67円41銭

(2) 修正の理由

通期連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間における実績および不採算店舗の閉店影響を反映し、売上高を200億円に修正いたします。利益面での変更はございません。

売上面では、通信販売事業において、より強力な新商品をタイミングよく発売していく計画であることから、当期下期の売上高は前期下期を上回る見込みです。

利益面では、各事業において粗利益率の高い自社開発商品の一層の拡販強化を推進することや、新規仕入先の開拓により商品原価の低減を図ることにより利益確保が可能との判断から、前回公表の利益予想を達成する見込みです。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上